

平成 30 年 1 月 4 日
観 測 部
地球環境・海洋部

2017 年の日本の天候の特徴

2017 年（平成 29 年）は、梅雨の時期に「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」など記録的な大雨となった所がありました。8 月は北・東日本太平洋側で、10 月は北～西日本で曇りや雨の日が多く、不順な天候となりました。沖縄・奄美では、夏から秋にかけて顕著な高温が持続しました。

2017 年（平成 29 年）の天候の特徴は以下のとおりです。

梅雨の時期は、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」など記録的な大雨が発生
梅雨前線の活動が活発となった時期があり、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」など記録的な大雨となった所があった。新潟県や秋田県などでも大雨となった日があった。

8 月に北・東日本太平洋側で不順な天候

8 月はオホーツク海高気圧が出現し、北・東日本太平洋側には冷たく湿った空気が流れ込んだため、曇りや雨の日が続く不順な天候となった。

10 月は北～西日本では顕著な多雨・寡照

10 月は、秋雨前線や台風の影響を受けやすかったため、北～西日本では月降水量がかなり多く、月間日照時間がかなり少なかった。西日本の月降水量は、記録的に多かった。

沖縄・奄美は夏から秋にかけて顕著な高温が持続

沖縄・奄美では、夏は太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多く、秋には南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温のかなり高い状態が続いた。8 月、9 月は、2 か月続けて記録的な高温となった。

[別紙（概況、統計値等）\[PDF 形式:504KB\]](#)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 福重(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406